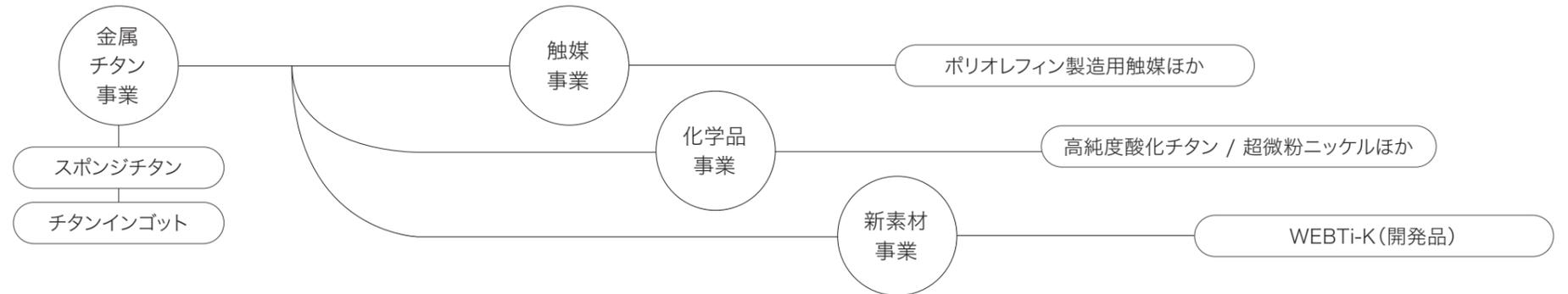


事業領域と事業構造

チタンを製造販売する「金属チタン事業」をベースとして「触媒事業」「化学品事業」「新素材事業」の4事業を展開しています。当社はチタン製品とその関連技術の限らない可能性を追求し、事業の拡充を通じてお客様の製品開発、発展に貢献してまいります。



4SEGMENT

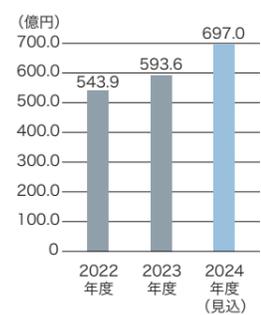
金属チタン事業

安定品質の金属チタン、応用分野拡大へ

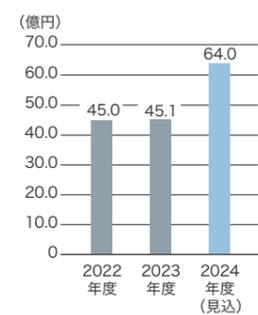
主要製品



売上高推移



営業利益推移



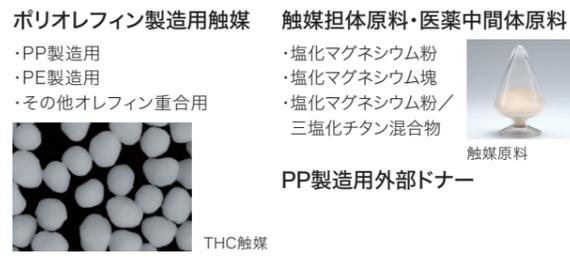
チタン事業では、スポンジチタンや、それを溶解・鋳造したチタンインゴットに加え、さらに付加価値を高めたDCスラブやチタン系粉など幅広い製品群を有しており、それぞれが素材としての高い優位性を持っています。

高い品質と確かな供給力で、お客様にご満足いただけるチタン製品を提供しています。

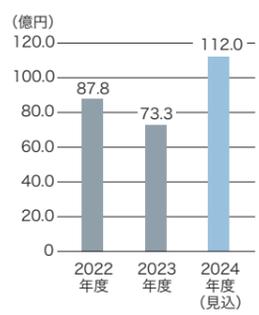
触媒事業

ポリオレフィンの付加価値向上に貢献

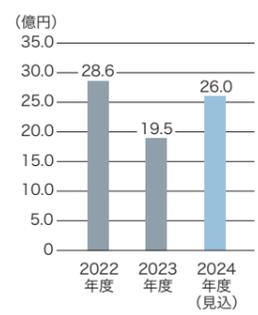
主要製品



売上高推移



営業利益推移



触媒事業では、チタンの製造工程から触媒の原材料である四塩化チタンおよび塩化マグネシウムを社内調達できる強みを活かし、プラスチック製品であるポリプロピレン(PP)、ポリエチレン(PE)等のポリオレフィン(PO)製造用触媒の開発・製造(受託製造含む)および販売を行うとともに、触媒原料や医薬中間体原料などの用途で塩化マグネシウムの加工・販売を行っています。

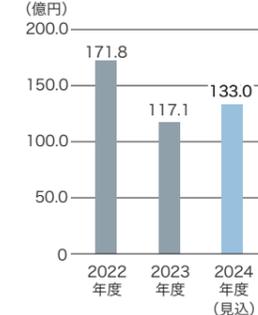
化学品事業

電子部品材料の進化を支える粉体製造技術

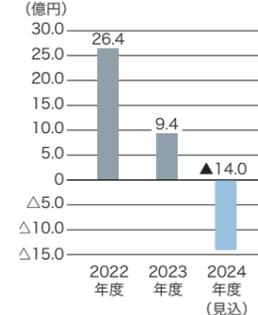
主要製品



売上高推移



営業利益推移

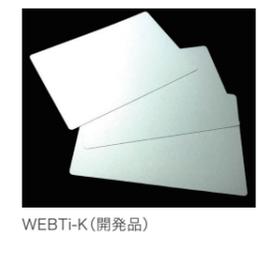


化学品事業では、積層セラミックコンデンサ(MLCC)、PTCサーミスタおよび誘電体共振器などに使用される高純度酸化チタンや超微粉ニッケル、その他電子部品材料の製造・販売を行っています。特に超微粉ニッケルは、粒径や表面状態をコントロールできる特長を活かし、MLCCの内部電極に使用されています。品質安定性の高い粉体製造技術をさらに磨き、通信機器や車載電装品、電子機器市場等の拡大する需要に対応していきます。

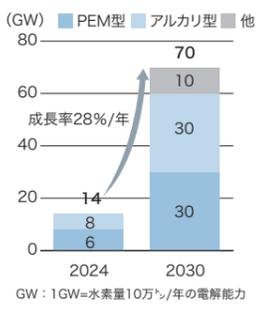
新素材事業

ニーズ高まるWEBTiの量産化へ本格始動

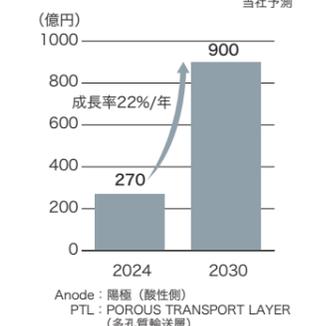
主要製品



水素発生用水電解装置



PEM型におけるAnode PTL



近年、次世代エネルギーとして水素に注目が集まるなか、当社が開発したチタン多孔質体(WEBTi)は、水素製造装置の一つであるPEM(Polymer Electrolyte Membrane:固体高分子膜)型水電解装置への活用が期待されています。当事業部としては、WEBTi供給体制の整備を含め、早期量産化に取り組んでいきます。また、その他の新規事業案件についても、順次事業化の取り組みを進めていきます。

WEBTiは東邦チタニウム(株)の登録商標です。